

使用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

## 点眼薬

目のかゆみ・充血・なみだ目

# ジキナ<sup>®</sup>AL点眼薬

15mL

◆**ジキナAL点眼薬**は、抗アレルギー薬「ケトチフェンフマル酸塩」を有効成分としたアレルギー用点眼薬です。ケトチフェンフマル酸塩は、「抗アレルギー作用」、「抗ヒスタミン作用」、「抗炎症作用」の3つの作用を有する抗アレルギー薬で、花粉やハウスダストなどによる目のかゆみや充血などの目のアレルギー症状にすぐれた効果を発揮します。  
花粉症などの季節性アレルギーによる目の症状に使用する場合は、症状が軽い早めの時期からの使用が効果的です。



### 使用上の注意

#### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は使用しないでください。
  - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - 1才未満の小児
- 点鼻薬と併用する場合には、使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。(眠気等があらわれることがあります。)



#### 相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - 医師の治療を受けている人
  - 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人
  - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - 次の症状のある人  
はげしい目の痛み
  - アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人  
とくに次のような場合はアレルギーによるものとは断定できないため、使用前に医師にご相談ください。
    - 片方の目だけに症状がある場合
    - 目の症状のみで、鼻には症状がみられない場合
    - 視力にも影響がある場合
    - 目やにの多い場合
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人
- 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	かゆみ <sup>**</sup> 、発疹
目 <sup>**</sup>	目の充血、刺激感 <sup>*</sup> 、痛み <sup>*</sup> 、はれ <sup>*</sup> 、かゆみ <sup>*</sup> 、 目のかすみ、目の乾燥、目がまぶしい
その他	眠気、頭痛、口のかわき

\*目のまわりを含みます。

\*\*人によっては、使用開始初期(1~2日目)にまぶた、目の周囲、頬などにひどいかゆみ、はれ、痛みなどの症状があらわれることがあります。

- 次の場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - 目のかすみが改善されない場合
  - 1週間位使用しても症状がよくならない場合
- 次の場合は、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
症状の改善がみられても使用期間が2週間を超える場合

## 効能・効果

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような目のアレルギー症状の緩和：目の充血、目のかゆみ、目のかすみ（目やにの多いときなど）、なみだ目、異物感（コロコロする感じ）

## 用法・用量

1回1～2滴、1日4回（朝・昼・夕方及び就寝前）点眼してください。

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。
- (4)容器の先をまぶた、まつ毛に触れさせないでください。また、混濁したものは使用しないでください。
- (5)コンタクトレンズの装着液として、また、コンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- (6)点眼用にのみ使用してください。

## 成分・分量

100mL中

成分	分量	はたらき
ケトチフェンフマル酸塩	69mg (ケトチフェンとして50mg)	花粉やハウスダストなどによるアレルギー症状を抑えます。

添加剤：グリセリン、ベンザルコニウム塩化物、pH調節剤 含有

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)他の人と共用しないでください。
- (5)車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど高温下に放置しないでください。(容器の変形や薬液の品質が劣化するおそれがあります。)
- (6)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。  
また使用期限内であっても、開封後はできるだけ速やかに使用してください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品（学術室）  
電話 (048)648-1118 9:00～17:30（土、日、祝日を除く）

製造販売元 **株式会社 富士薬品**  
埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地